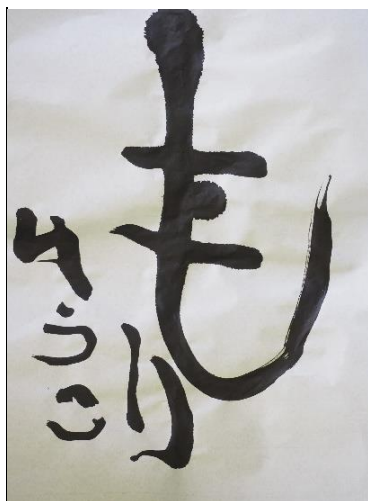


年長 M・S

Yくん はじめてのお習字。「岸」の「き」の字を、力強く、思い切って大きく書けましたね。

Yさん 筆を立て、大きな気分で書いています。生き生きとした線で、芸術的な美しさがあります。

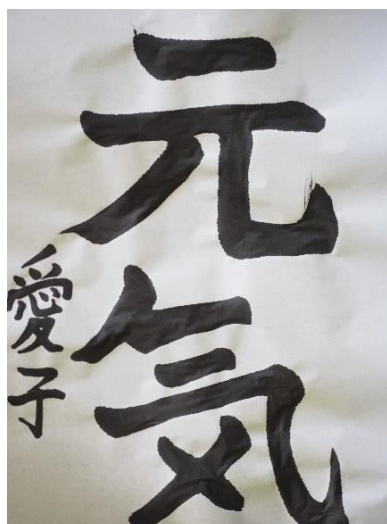
Sくん 墨をたっぷりふくませ、伸び伸びとした線で書いています。すっきりとさわやかな文字です。



年長 N・Y



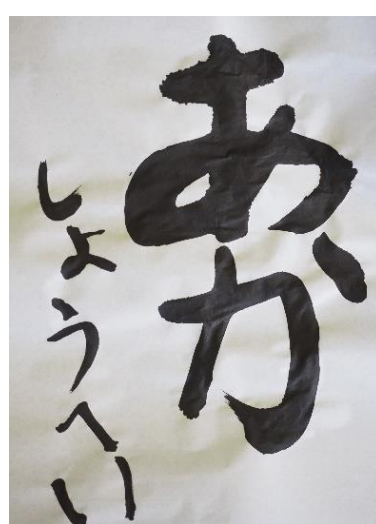
年中 K・Y



4年 M・A



2年 N・E

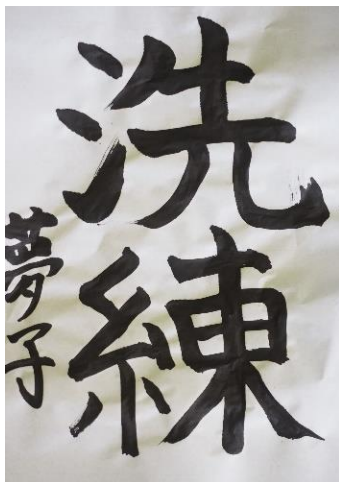


1年 K・S

Sくん 紙全体のバランスを見て名前をきれいに入れました。「あか」を真ん中にどっしりと書くとよいです。

Eさん 大きな気分で紙いっぱいに堂々と書け、素晴らしいですね。紙全体を見て、名前をおさめています。

Aさん 始筆、終筆がきれいです。はらい、はね、とめなどもていねいです。心を込めて書いていますね。



6年 M・Y

Yさん 堂々と、大きな気分で書けました。中心が通り、どっしりとしたよい作品です。

新教育者連盟の書道は、ただ単に型をまねるものではなく、心豊かに楽しく無限創造の道を生きるものです。それがまさしく日本的な考え方と言えます。その根元となるものは『神の子人間』の自覚です。「この線はもう少し右の方が良いかな。ではもう少し右に書きましょう」ではなく、紙一枚を前にして、神様が宇宙を創造するような気持ちや考えで書くところが大きな違いです。

(「生命の子供」誌より)